

受験生の皆さんへ

『地域資源を利用した地場産業の商品開発と雇用創出』

山形大学農学部森林科学コース

准教授 小川 三四郎 (OGAWA, Sanshiro)



フォーマルな経済は、主に公共事業や市場経済によって支えられていますが、貨幣の交換だけによらないインフォーマルな経済もまた、社会的に必要不可欠な仕事やサービスによって成り立っています。インフォーマルな生産価値は、GDPの60%もあると、試算されたことがあります。

近年、国際的には、ILOにおいて、ディーセント・ワークの実現について提唱され、日本政府もその推進に努めています。今後は、インフォーマルな経済をディーセント・ワークにもとづいて、フォーマル化していくことが問われていると考えます。

以上を踏まえて、地域に根ざした実践的なコミュニティ・ビジネスの開発と持続化および雇用創出に向けて、主に次の課題について実態調査にもとづく研究活動を行っています。

- ① 農山村地域の多様な地域資源に立脚した独創的な商品開発
- ② 地域住民の自主的な組織による生産活動と販売展開
- ③ 多様なニーズに対応可能で対面性が確保される小規模経営

専門分野： 経済学、政策学、資源利用問題、農山村問題

自己紹介： 著書「森林組合論—地域協同組合運動の展開と課題—」

e-mail : ogawa@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp